

ニュースレター



新春だより

明けましておめでとうございます。

コロナ禍も3年目を迎え、第5波の後、感染が収まった感はありますが、今年こそは、本当に落ち着いてほしいものです。

さて、最近、「多様性」の尊重がいろいろな場面で叫ばれておりますが、コロナで人々の間の分断孤立、格差が進む中、多様性が「人は人、自分は自分」という不干渉を意味し、却って分断を拡大しかねない文脈で理解されてしまう恐れがあります。

こうした中、注目を浴びているのが、東京工業大学の准教授伊藤亜紗氏の「利他」の考え方です。一般に「利他」というと、例えば、障がい者に対し、何か自分から能動的に善行をするという考えですが、先回りして手を貸すことが本人の成功体験をなくし自己肯定感を下げたしまい、手を貸す方の「安心」のために、必ずしも「利他」となっていない場合がある、本当の「利他」は、まず自分の中に「余白」を持ち、目の前にいる相手を「信頼し任せ」て、その潜在的な可能性を引き出すことで、それにより、相手も自分も変わることができるという指摘です。子育てにも通じる目から鱗の指摘です。具体的に何をすればいいかの知恵は、自分に「余白」がなければ、出てこないでしょう。世の中が過呼吸気味に進展する中、余白を持つことは、難しいことですが、心がけていきたいものです。



【池田伸之】

謹賀新年

新しい年が始まりました。未だコロナ禍の影響の続く中でも、様々な技術革新や社会変化が起き、生活様式も変わり始めています。停滞していた経済活動が人の往来を得て回復を見せ、併せて、脱炭素をはじめ将来目標を実現する取組みも急ピッチです。

持続的な発展SDGsが合言葉になっていますが、格差や環境問題が深刻になり、自分さえよければという考えや態度では世の中が行き詰っていきます。課題解決のため、一人ひとりがデータで結びついている社会に生きていると考えて行動していく必要があります。ささやかなことを含めて、日々の選択が課題解決の仕組みやサービスの改善に落とし込まれていきます。AIが2022年に私たちの生活を後押ししてくれることは沢山あるようです。今年、夢を語って実現する！大谷翔平選手や藤井聡太さんのレベルでなくても、周りを変える夢や願望を持ちたいものです。



今年もどうぞ、つながってください！

【池田桂子】

今年の抱負



現在の池田綜合法律事務所の形になって約2年経ちました。これから5年、10年先を見据えて、依頼者の皆さまに時代に合ったより良いリーガルサービスが提供できるような法律事務所とは何かを考えていきたいと思えます。

【小澤】

コロナ禍で自家用車での移動が増えたためか、歩く時間が減りました。今年は、なるべく歩くように心がけ、運動不足解消に努めたいと思えます。

【川瀬】

今年で40歳になります。多少の経験は積んだはずですが、なかなか「四十にして惑わず」という境地には到りません。それはもうしょうがない。むやみに決断や結論を急がず、適度(?)に惑いつつ最適解を模索していきたいです。

【山下】

どのような解決が依頼者さまにとって一番良いのか、日々考え、悩みながら仕事をしています。最終的に依頼者さまから喜びの言葉が聞けると、それが何よりの励みになります。今後も一歩一歩着実に、誠実に仕事をしていきたいです。

【石田】

相談予約方法

下記電話番号にてご予約ください。無料相談会も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

☎ 052-684-6290

受付時間 9:00AM~5:30PM

18歳成人と事業者への影響

【小澤尚記・山下陽平】



初詣

本年4月1日から、成人年齢が18歳に引き下げられます。これは明治9年に成人年齢が20歳と定められてから、約140年ぶりの「成人」の定義の見直しです。20歳から18歳に成人年齢が引き下げられることで、4月1日時点で18歳の方だけではなく、19歳の方も「成人」となります。

成人になると何がかわるかですが、①18歳になると一人で契約をすることができるようになり、親権者の契約に対する同意が不要になります。また、②18歳になると父母の親権の対象外となります。

事業者としては、いままで20歳以上の成人にしていたことを18歳、19歳の成人にも同じように行えば良いということになります。

具体的には、18歳で成人となれば、親の同意なく、アパートなどの賃貸借契約を結ぶこともできますし、ローンも組むことができるようになります。

しかし、18歳であれば高校生、大学生の年齢であり、働いていないことも多いはずですので、事業者としては18歳、19歳の成人の支払能力は慎重に検討すべきですし、契約をするとしても父母の連帯保証をつけることを求めるなどの措置を講じておくことを検討する必要があります。

また、一般論として、事業者としては、18歳、19歳の方が十分な判断能力を持っていないかもしれないということを前提として、契約をするに際しても十分な説明をする必要があります。

最後に事業者にとってはあまり関係ないかもしれませんが、あまり知られていないところでは裁判員裁判の裁判員候補に18歳、19歳の方も含まれることとなります。高校生・大学生であれば裁判員を辞退できますが、仮に裁判員に選任されて勉強したいと言われた場合には、高校・大学としては欠席として扱わないといった対応が必要になる可能性があります。



相談予約方法 下記電話番号にてご予約ください。お気軽にご相談ください。



当事務所のホームページには、左のQRコードを読み取ってアクセスして下さい。

☎ 052-684-6290

予約受付時間9:00AM~5:30PM

ニュースレター第28号をお届けします。皆様のお役に立てる情報を提供したいと思っておりますので、ご意見・ご質問もご遠慮なく、当事務所（メール：info@ikedalawoffice.com、FAX052-684-6291）までお寄せください。

「所有者不明土地」って知っていますか？

【川瀬裕久・石田美果】



一般的に、土地の所有者に関する情報は、不動産登記情報に記録されます。

しかしながら、中には、①不動産登記情報から所有者が直ちに判明しない土地、②所有者が判明していても、その所在が不明で連絡が付かない土地があります。このような土地は「所有者不明土地」などと呼ばれ、その総面積は2016年時点で九州の面積を上回ると言われます。こうした土地は、管理されず放置されたり、所有者の許諾を得られず第三者による利用が困難となったりします。

そこで、2021年4月、所有者不明土地の解消に向けた法改正がなされ、相続登記の義務化や相続等で取得した土地の所有権を国庫に帰属させる制度（相続土地国庫帰属制度）の創設が盛り込まれました。



●あなたの土地は大丈夫？ 相続登記が義務化されます

Q1 なぜ、相続登記の義務化が所有者不明土地の解消につながるのですか。

A1 従前は、相続登記の申請は義務ではなく、むしろ、申請をすると費用がかかるため、土地の所有者が死亡し相続が発生したにもかかわらず、相続登記をしないことがありました。

相続登記をしないと、登記記録上の所有者と実際の所有者が一致しませんので、その土地は所有者不明土地となります。

そこで、相続登記を義務化することで、こうした所有者不明土地の発生を防止しようとしたのです。

Q2 相続登記の義務化について、具体的にどのような制度になったのでしょうか。

A2 相続や遺贈で不動産を取得した相続人は、相続の開始とその不動産の所有権の取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければなりません。正当な理由なく申請を怠ったときは10万円以下の過料の罰則の対象となります。

●相続した土地を放棄できる！？ 相続土地国庫帰属制度の創設

Q3 相続土地国庫帰属制度について、相続した土地ならどんな土地でも国庫に帰属させることができるのでしょうか。

A3 建物が存在する土地や隣地との境界が明らかでない土地、崖がある土地など、通常の管理または処分をするに当たって過分の費用や労力を要する土地に当たる場合には、この制度を使うことはできません。



●今できること、しておきたいこと

Q4 これらの制度はいつ始まるのでしょうか。今のうちにすべきことはありますか。

A4 具体的な開始日は未定ですが、相続登記の義務化については2024年4月までに、相続土地国庫帰属制度については2023年4月までに始まることとされています。

したがって、今すぐ何か対応をしなければならないという訳ではありませんが、これを機に、皆さんや皆さんのご両親が所有されている土地の登記内容が実態と合っているかを確認したり、将来的に扱いに困りそうな土地がある場合にはその土地を今後どうしていくのか、関係者（親子、兄弟など）と一度話し合っておかれると良いのではないのでしょうか。

私的絵画百選 ①6



『謎めいた要素のある風景』

サルバドール・ダリ 1904生-1989没
1934年、72.8×59.5cm、板に油彩
ガラ＝サルバドール・ダリ財団蔵

砂浜か砂漠か、それとも微かに緑色も混ざる色合いからすれば草原か。空には、湧き上がる雲もあれば、陽の反射する筋雲もたなびいている。季節も時刻も謎めいた空の下で、画家は絵筆を持ってキャンバスに向かっていきます。しかし、一見画家と見える人物の服装はというと闘牛士。少し先にはセーラー服を着た少年と腰を下ろし足を投げ出した老人のような人物が居ます。男性は兵士のようなカーキ色の戦闘服に帽子を被っています。

左側には糸杉のような木々が連なり、その前には黒色の布地を被った人影？亡霊？糸杉は死の象徴と言われ、墓地に植えられることもあります。鳥が飛び交ち、吊るし台のある塔や教会のような建物。この左端の糸杉の木々はスイス出身の画角、ベックリーンの作品、死の島を想起させます。

スペイン北東部にある故郷のカダケスの風景に似た景色の中に、複数の空間を重ねて作出していますが、一つ一つのモチーフに込められた寓意は何でしょうか。

よく、この絵は、キャンバスに向かう人の後ろ姿がフェルメールの絵画芸術と名付けられた作品を想起させ、フェルメールへのオマージュ（敬意や献辞）に基づいていると言われています。本当にそうなのでしょう。ダリがフェルメールを高く評価していたことは知られています。ダリの著書『天才の日記』の巻末には、技術、靈感、色彩、主題、構成、独創性、神秘性、真実性、天才の項目、各20点で評価していますが、最高点をつけているのはフェルメール。独創性が1点欠けるのみです。ちなみに第二位はラファエロです。

この絵は、確かに、フェルメールの絵画芸術に描かれている画家の後ろ姿を彷彿とさせますが、私は、大空の下で夢想するダリ自身の後ろ姿、そして少年時代、壮年時代ではないのか、と想像します。

どこまでもどこまでも広がっている大地。少年や男性は同じ場所にいるように見えても、彼らの時空は隔たっているかのようでもあります。お互い見えていないかのように独立しているようです。作者のダリだけが同時に2人を見ているのかもしれませんが。確かなものは、彼らを包み込む大きな空と大地にふりそそぐ日差しが、眩しい光。

このように、作品に何を感じるかは、私自身の無意識の何かなのかもしれませんが。

ダリはスペインのカタルーニャ州において公証人の父のもとに生まれ、幼い頃から画才を発揮しました。学生運動で放校処分になったり、美術学校の試験を拒否して放校処分になったりもしました。その後ピカソやミロはじめ交友を深めていきました。この絵を描いた年に、ダリにとっての女神アミュース、ガラ夫人と結婚しています。30歳の時です。84歳で亡くなるまで、旺盛な表現活動をし、第二次世界大戦中にはアメリカで映画制作にも参加しています。

さまざまな技法に挑み、また、古典への回帰も忘れなかった彼は、この絵でも、イタリアの絵画のように、ある種お決まりの遺跡風の建物の配置や遠景も描いています。

精神分析学を確立したフロイトの知遇を得て、その影響を大きく受けたと言われています。シュル（超）現実主義、ありえないはずなのに現実を「超える」ほどリアルな夢や記憶のイメージ、理性では認識できない深層心理を表そうとした運動の盟主です。

兄の死後直ぐに生まれたため生まれ変わりを意識せざるを得なかったかことに始まり、父への反発、母への愛、セックスへの不安、自己愛が、偏執狂的＝批判的方法を招来したようです。最高の写実的手段によって、妄想的な、しかし本質的現実を描く。技巧が優れているからこそ可能なことだった！凄い才能に惚れます。

〈池田桂子〉